

## 出エジプト記 第6章 30節

「しかしモーセは主の前に申し上げた、『ご覧ください。私は口べたです。どうしてパロが私の言うことを聞くでしょう。』」

エジプトで奴隷生活を強いられる同胞を解放する導き手として神に召し出されたモーセは呼び出され後退りする。自分の無力さ、求められた使命を担う器でないことを主に向かって語る。ご覧ください、とまるで開き直ったかのように、見てくださいこの自分を、と言う。自分の口べたなのは誰かのせいだ、と言わんばかりである。また、自分の口べたを自虐的にあげ、どうすることもできないではありませんかと訴える。どうして、この口べた者の言い分をパロが聞くことがあるのでしょうか。一国の、それも大国の王が自分の言うことなど、と言う。自分が神に召されていることを忘れ、自分の貧しさばかりに目を向け御前で吐き出す。

召し出してくださった神の偉大さを無視し、ひたすら自分の足りなさを言い張るばかりである。そのような貧しき者の言い分を神は聞かれる。聞いてくださるのである。どのような言い訳であったとしても耳を閉ざさず聞いてくださる主がおられる。どのような貧しき弁明でも聞いておられる。

召しは弁明する者の貧しさによらず、召した神の御名によって導かれ成されるからである。

2024年3月8日